



## 香川県土木施工管理技士会

### ■香川のちょっと変わったうどん文化

讃岐うどんは、うどん店舗数が「電柱の数より多い」との言い伝えもあるほど、うどんが生活の一部として愛されています。

そんな香川県には「香川では蛇口をひねるとうどんのだしが出る！」という都市伝説がありますが、実際にだしのでる蛇口が存在するのです。高松空港内にある「空の駅かがわ」の一角に話題の蛇口があります。出てくるのは“かけだし”で、試飲できます。飛行機にて香川県へお越しの際にはお試しく下さい。



### ■現代アートの祭典—瀬戸内国際芸術祭—

「瀬戸内国際芸術祭」とは、3年に一度、春・夏・秋の3期に分けて、瀬戸内海の島々と港の周辺を会場にして行われる“現代アートのフェスティバル”です。会場となった島々には、瀬戸内海の自然豊かな環境と見事に融合した、数多くの魅力ある現代アート作品が誕生しています。評判は国内に留まらず、海外でも大きな反響を呼んでいます。来年2016年が開催年で、「海の復権」をテーマに掲げ、地域の資源を明らかにし「あるものを活かし新しい価値を生み出す」アートプロジェクト・イベントを展開していきます。ぜひ現代アートと瀬戸内の風土の織り成す芸術を堪能しにいらして下さい。



作品名「太陽の贈り物」

作者チェ・ジョンファ(崔正化) 撮影/高橋公人

### ■「讃岐の水がめ」満濃池

満濃池は、かんがい用のため池としては日本最大級のもので、創築は大宝年間(701～703)と伝えられています。弘仁12年(821年)に弘法大師空海が改修にあたり、唐の最新土木技術を駆使し、日本最初のアーチ型ダム方式の堤防を短期間に完成させ、従来の数倍の強度を誇るため池を築き上げました。その後も改修や嵩上げ工事を重ね、今では1,540万トンの貯水量を誇るまでになっています。



### ■香川県技士会紹介

香川県技士会では、土木施工管理技士資格取得のための講習会を開催し、土木施工管理技士の育成を図ると共に、監理技術者講習・技術講習会等を開催し、技術力向上及び社会的地位の向上のために活動しております。